

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第22回）

1. 日 時

令和5年6月1日（木）14時30分から16時30分まで

2. 場 所

京丹波町役場 議会棟 2階 大会議室

3. 出席者

委員24名（うち代理6名）
（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

第1号 令和4年度収支決算について ⇒ 承認

第2号 令和4年度公共交通計画に係る事業実績について ⇒ 報告

第3号 令和5年度収支予算の変更について ⇒ 承認

第4号 園福線の運行予定事業者選定結果報告及び今後の進め方について ⇒ 承認

6. 主な意見・回答

〈第1号 令和4年度収支決算について〉

- 特に意見なし。

〈第2号 令和4年度公共交通計画に係る事業実績について〉

- 綾部市、南丹市、京丹波町の3市町の公共交通が一体的に機能することを目指して取り組んで欲しい。
行きと異なる市町のバスで帰ることができる、検索で他の市町のバスを利用するルートが提案されるようにするなどしていくと利用者を増やせると思われる。
- 異なるバス事業者のバス停が近接する箇所、バス停名称の統一がなされていない箇所があり、整理した方がよい。
また、異なる事業者間であっても、一目でどのバスが何時に走っているかわかる時刻表の作成や、全体として上手く便をばらけさせたダイヤとすることで、多くの方が、利用しやすくなるようにすることが必要。
- 新たな運行予定事業者を選定した園福線のバスについては、これまでの園部駅東口での発着ではなく、他のバスが発着している西口へ統一されると良いと思われる。また、同じようなルートを通るバスが、事業者によって運賃が全然違うとかがないよう、運賃の統一についても検討して欲しい。

〈第3号 令和5年度収支予算の変更について〉

- 歳出の会議費が増額となっているが、どのような積算か。
(事務局回答) 今年度は、園福線にかかる協議会を2回追加で開催することを想定しているため。

〈第4号 園福線の運行予定事業者選定結果報告及び今後の進め方について〉

- 次回協議会(7~8月頃開催を想定)からは、園福線の運行予定事業者にオブザーバーとして参画していただく方がよい。

〈その他：意見交換〉

- 京都府の「駅にぎわいづくり推進プロジェクト」で胡麻駅が選ばれているが、胡麻駅のみならず、綾部市、南丹市、京丹波町の3地域で、もっと、いろいろな駅において、駅の改修等を行い地域の活性化につなげて欲しい。
- 綾部駅で特急券の購入が「みどりの券売機プラス」での発券となったが、高齢者がタッチパネルを操作するのは非常に難しい。「JRのチケットレスサービスに関するスマホ教室」を綾部市とJRで開催し、高齢者に説明いただいているが、なかなかお年寄りが操作を覚えられないこともあり、駅での人的なサービスを少し良くしていただけるとありがたい。
(JR西日本回答)「みどりの券売機プラス」では、オペレーターとつながる機能があり、受話器や映像でやり取りしながら、切符の購入を支援させていただいている。混雑時には、駅員も切符購入の支援等させていただいているところであり、「スマホ教室」等の取組を含め、住民の方の理解を得ながら、引き続きしっかりと取り組んでまいりたい。
- 現計画で具体的な施策がない駅(安栖里駅、立木駅など)について、駅周辺の活性化のため何ができるか検討していく必要がある。